

事業所名

いー・すまいるめろでい（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和7 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		すべては笑顔のために。 「子どもたちが、その人らしく、笑顔の明るい未来を迎えられること」を目的として掲げ、子どもたちの幸せな未来という大きな目標に向けた、小さな一歩を応援します。						
支援方針		子どもたちが日常生活を送るために必要な力を身につけられるよう、一人ひとりの個性に着目して、楽しみながら自立した人生を歩むことができるよう支援していきます。						
営業時間		9 時	分から	18 時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、自ら自立した生活を送れるよう基本的な生活スキルを獲得し安全な生活を作り出すことを支援する 日々の検温・手洗い・消毒・身だしなみ・災害時訓練の獲得 生活の中で様々な遊びを通して、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する						
	運動・感覚	一人ひとりが保有する有効な感覚を活用し、サーキットトレーニングや公園遊びで身体を大きく動かし体幹を鍛え、感覚刺激を取り入れた手先の細かい作業で視覚・感覚の統合、協調運動の向上をはかる 感覚遊び、音楽活動（リズム、表現、楽器、体操）を通して五感への刺激を促す 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境設定等を提案し支援する						
	認知・行動	可視化されたスケジュールを用いることで、時間の感覚習得、集団での適切な行動の形成を促す 五感を刺激することで認知機能の発達を促す（音楽活動・感覚遊び） 手先・指先を使って物の感覚に触れたり、個々の能力に合わせ、数や形、重さ、大きさ、色の違い等の認知の形成をする						
	言語 コミュニケーション	音楽に合わせて発声していくことで、言葉の習得、正しい発音を促していく/単語・二語文・三語文・オノマトペ等のことば遊びで支援する（ことば音楽） 他児とのやり取りを通して、相手の話を理解して自分の気持ちを言葉にできるよう経験を重ねていく サインや身振り手振り、絵カードなどの非言語コミュニケーションを行い、言語の特性に配慮をする 個々の特性に応じた読み書き能力の向上のための取り組み						
	人間関係 社会性	自由時間・活動から、人の模倣、集団への参加、社会的マナー、ルール理解、協調性を育てていく 一人遊びから小集団への遊びに発展させる支援						
家族支援		子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 ご家庭での困り事、ご兄弟との関係性や生活についての助言や協力 個別面談（年に1回） レスパイト確保や預かりニーズに対する延長支援		移行支援		ライフステージにおける節目（就学等）がスムーズに移行できるよう、他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築する		
地域支援・地域連携		個別の必要に応じて、ご家族が関わる機関（相談支援事業所、学校、他事業所、医療機関等）と連携し、情報交換や情報提供を行う 個別のケース検討のための会議への参加		職員の質の向上		外部機関による研修・事業所内研修 全職員が同様の支援が出来るように情報共有を日々行い支援に繋げていく		
主な行事等		季節行事（豆まき・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会等）、誕生日会、近隣施設・公園への外出 避難訓練 事業所開放（年2回） 地域のまつりに参加（春日井まつり）						